

時間割コード	G1D14601	開講年度	2026				
授業題目	フランス語初級（読解・会話）Ⅱ				担当教員	KOSHIKAWA MALAURIE	
英文授業名	French: Elementary Level (Reading Comprehension / Conversation) Ⅱ						
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・3時限	対象学生	LⅠ／全
講義室	共通教育3 4 講義室			授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	大学DP						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				⇔	フランス語学習を通じて、日本語や英語に対する感覚も磨きつつ、簡単なフランス語の文章を読むようになる。フランス語検定4級程度の語学運用能力を身に着ける。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	・ 初歩的なフランス語の読解・会話能力を習得します。 ・ 基礎的レベルのフランス語を理解できるようになります。 ・ 日常生活で用いる簡単なフランス語を「聞く」「話す」「読む」「書く」の4つができるようになります。 ・ 授業は後述の教科書『Moi, je… A1コミュニケーション』を用いて進めます。綴りと発音の決まりや、文の構造を徹底的に学び、発言練習をしていきます。 ・ フランス語圏の文化について理解を深めます。 ・ 大まかな進度は、以下の「授業計画・到達基準」で示している通りですが、履修者の理解度に応じて、臨機応変に対応します。						
(5)授業のキーワード	フランス語、初修外国語、会話、習得、コミュニケーション術、読解、						
(6)授業計画	1. アイスブレイク 第13課 科目・先生について話す 定冠詞 ca代名詞 2. 第14課 クラブ活動について話す Faire動詞の活用 部分冠詞 3. 第15課 日常について話す 代名動詞 曜日 時間 リエゾン Partir動詞 4. 第16課 週末の過ごし方について話す 近接未来 代名動詞（現在計・近接未来系） 5. 第17課 好みについて話す 頻度 代名詞ca y enの使い方 6. プロジェクト① 近接過去 7. 第18課 総復習3 文法の復習 中間試験：既習事項をつかった読解と対話文 3 8. 第19課 休暇中の活動について話す 複合過去 9. 第20課 経験について話す 複合過去 半過去 10. 第21課 地理について話す 都市の位置を説明する 地方の名物 11. 第22課 天気について話す Quelの疑問 月 季節 12. 第23課 旅先を相談する Il y a 形容詞の位置 13. プロジェクト② 単純未来 14. 第24課 総練習4 文法の復習 読解と対話文4 15. プロジェクト③ 15回目に授業アンケートを実施します。 16. 期末試験 各授業の始まりに、小テストがあります。各授業後は練習問題とサイトでのまとめシートなどの事後学習課題が出されます。 プロジェクトというのは、学んだフランス語を実際に活かすための活動です。なるべく日常的・社会的な内容を持つ発表などを想定しています。授業外時間の作業もあります。 ・学習サポートの資料について：その他にも、授業中やe-ALPS上で、学習プロセスをサポートするために、他の資料を配布することもあります。補助資料の内容は成績評価の対象とはしませんが、それに触れることで言語学習に、より向き合いやすくなるでしょう。 6もしくは7回目の授業が終了した後に、中間試験を実施します。 16回の授業が終了した後に、期末試験を実施します。						
(7)成績評価の方法	平常点（50点）と試験（50点）によって、総合的に成績評価をします。成績規準の詳細については、以下を参照してください。						
(8)成績評価の基準	平常点（50点） 毎回、主体的な受講態度・小テスト・確認課題の提出状況や、綴りや発音、聴き取りの正確さなどを、50点満点に換算します。 試験（50点）（中間試験、期末試験、プロジェクトなど）すべてを合計し、それを総合的に50点満点に換算します。 正当な理由なく課題が行われなかった場合は、0点として計算されます。他文化のコミュニケーションスタイルに慣れるには、学期を通してためまぬ努力と継続的な学習が必要です。 ・ 基本的な動詞の活用を理解しており、さらに簡単な単語を組み合わせ、短いフランス語の文の読み書きと聞き取り、会話ができる場合、「目的の達成水準にある」とします。						

(8)成績評価の基準	・基本的な動詞の活用を理解しており、さらに単語を組み合わせて、基本的なフランス語の文の読み書きと聞き取り、会話ができる場合、「達成水準よりもやや上にある」とします。 ・微細なミスはあるものの、動詞を正確に活用させて、比較的複雑なフランス語の文の読み書きと聞き取り、会話ができる場合、「かなり上にある」とします。 ・円滑なフランス語で、比較的複雑なフランス語の文の読み書きと聞き取りができ、正確な発音で会話ができ、さらに動詞の活用や性・数一致等においてミスがみられない場合、「卓越している」とします。
(9)事前事後学習の内容	【授業外学習（予習・復習）】 次回学習する教科書の範囲を読んでおくこと(音声と聞きなれてみる)（予習30分） 授業内で学習した範囲の文法・語彙の確認、宿題など（復習30分） ・基本的に、教科書の各課の「Exercices」は課題になります。 ・教科書についているまとめシートは、次の授業開始時に実施する小テストにしばしば使用されます。週によって、小テストは筆記だったり、発話だったりします。 ・復習が非常に大切であるため、出された課題にきちんと取り組みましょう。フランス語の音になれるためにテキストを繰り返し聞いたり、再読（音読）しましょう。インプットとアウトプットは両方必要と考えます。
(10)履修上の注意	・理解度・習得度の低い事柄については、出席プリントのコメント枠、次回授業、メール、オフィスアワーなどを活用して、必ずしっかりと確認しましょう。 ・一回目のクラス以外は毎回違う席が指定されます。毎週異なる相手とのペアワークを予定していますが、グループワークに変わる可能性もあります。 ・語学は授業にただ出席するだけでは身に付きません。時間外学習にきちんと取り組み、予・復習しましょう。特にヒアリングは毎回、きちんと予習をしましょう。 ・辞書は必携。 ・遅刻は1点引かせていただきます。いつでも入室は可能ですが、遅刻すると小テストに参加できない可能性があり、平常点にも影響が出るでしょう。欠席の場合は3点引かせていただきます。ただし、「出席停止」の場合は、減点はありません。
(11)質問,相談への対応	キャンパスで相談が可能なのは月曜日のみになります。授業後に時間がある場合も、質問を受け付けます。メールアドレス：Ms.Koshikawa@gmail.com が一番便利です。フランス語でも日本語でも質問することができます。メールの場合は自分の名前、大学名、授業名を書いてください。なるべく48時間以内に返事します。 質問は基本的にはメールで受け付け、返信をします（土日と休日は返信しません）。
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（不可）となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	Bruno Vannieu, 他著、『Moi, je... コミュニケーションA1』、ISBN 9784905343332、アルマ出版、2025年、2700円+税
【参考書】	森本英夫他、『増補改訂版 新・リュミエールフランス文法参考書』、駿河台出版社、2013年、2100円+税、ISBN 978-4-411-00532-8 ※ 上記の参考書の購入は任意です。授業で使用するものというよりは、自宅学習の際に、文法事項を確認するのに使用すると便利です。詳しくはオリエンテーション時に説明します。 杉山香織他編著、『コフレ フランス語基礎単語集』、朝日出版、2019年、1300円+税、ISBN 978-4-255-35301-2 ※ 上記の参考書は、「フランス語初級（文法）Ⅰ・Ⅱ」の授業でも使用するものですので、購入してください。